

仁王門の竹林の七賢人

仁王門には「竹林の七賢人」の彫刻が施されているとの説明書がある。

はたして本当なのでしょうか？良く見ると竹がない。竹林が見当たらない。

これがなんで竹林の七賢人なのか？

竹林の七賢のリーダーである阮籍（げんせき）は囲碁を打っていて、母親がなくなった知らせを受けても、そのまま囲碁を続けたと伝えられています。

この様なことから囲碁の場面を見て「竹林の七賢人」と、勘違いしたものと思われる。



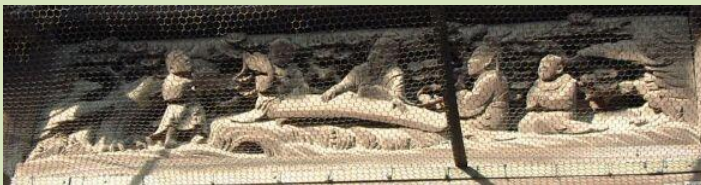
竹林の七賢人との説明があるが、竹林がありません。彫刻・絵共に竹が描かれている。

通常「竹林の七賢人」には竹林が描かれている事が多い。

囲碁の図柄は「琴棋書画」の四部作の一つとしての作品で、竹林の七賢人ではない。

昔の中国では「琴棋書画」の四つの芸事は士大夫（支配階級）や知識人の遊びと言われた。中国において文雅の士の四つの遊び又は〈四芸〉とも言われ、琴を弾じ、棋を囲み、書画をたしなむこと。文雅な芸として知識人の生活に密接なものとしてあったようである。

琴 棋 書 画



琴



囲碁



書道



絵画

日光陽面門にも同じ様な「琴棋書画」が、また伝如拙《琴棋書画図屏風》（大徳寺竜光院）など日本では多く彫刻や画題として多く取り上げられています。

「碁」という字は本来「棋・碁」の異体字で、意味も発音も同じだった。現在も中国では「囲碁（圍碁）」と書く。よって碁は将棋ではなく囲碁である。

竹林の七賢（ちくりんのしちけん）とは、阮籍（げんせき）がリーダーで

嵇康（けいこう）山濤（さんとう）劉伶（りゅうれい）阮咸（げんかん）向秀（しょうしゅう）王戎（おうじゅう）の七人
3世紀の中国・魏（三国時代）の時代末期に、酒を飲んだり清談を行なったりと交遊した人達。

この七人の内、嵇康は処刑されています。中国では昔も今も言論の自由はないのでしょうか？

仁王門

琴棋書画(比較)

三重塔



琴



琴(北)



囲碁



囲碁(西)



書道



孟母三遷(南)



絵画



琴高仙人(東)

日光東照宮の陽明門の琴棋書画

